

平成 28 年度琉球大学法科大学院
A 日程（甲方式） 未修者コース 入試問題

小 論 文

平成 27 年 8 月 30 日（日曜日）
10 時 30 分～11 時 30 分（60 分）

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

- 1 この試験では、問題冊子 1 部、解答用紙 1 枚、下書用紙 1 枚を配布します。
試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この試験の解答として提出された小論文は、面接の際の資料として用いられます。
小論文に対する評価は、面接試験の得点の中で評価されます。
- 3 試験開始後、問題の部分に印刷不鮮明、汚損等があれば直ちに申し出てください。
- 4 解答は、必ず解答用紙に記入して下さい。解答に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 5 黒色または青色であれば筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 6 試験開始後は、途中退席できません。用便を希望する際は手をあげてください。
- 7 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
配布した解答用紙は、書き損じや未使用のものも含めて、すべて回収します。
問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。
- 8 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

問題

次の【事例】を読んで、後記の〔設問〕に答えなさい。

【事例】

ある老舗温泉旅館では、暴力団排除の観点から、「入れ墨（洋彫の入れ墨であるいわゆる「タトゥー」を含む。）を入れている者の大浴場の利用は断る。」というルールを定めて、これを厳格に守ってきた。しかし、近時、来日する外国人観光客が飛躍的に増加したことに伴って、同旅館にも外国人観光客が多数来客するようになり、その中には、ファッションや伝統文化を理由とする入れ墨を入れている者が少なからずいたため、従業員との間で、大浴場の利用をめぐるトラブルが生じることが増えてきた。そこで、一部の従業員から、「外国人観光客にも温泉を楽しんでもらい、気分よく帰国してもらいたい。入れ墨やタトゥーを入れているというだけで入浴を断るのはやめにしてはどうか。例えば、暴力団関係者の入浴だけを断ればよいのではないか。」という意見が出されるようになった。

〔設問〕

あなたが、【事例】中の老舗温泉旅館の支配人という立場であるとしたら、入れ墨を入れている者の大浴場への入浴を認めるかどうかという問題について、どのような対応をとるか。予想される他の意見（特に、反対の立場からの意見）を十分に踏まえた上で、自らの考えを述べなさい。

以 上